

入札説明書

総合評価方式(特別簡易型:地域設定)

本説明書は令和8年10月23日入札公告を行った下記2の工事の総合評価方式に関する補足的事項を記載したものである。

令和8年10月23日

島根県益田県土整備事務所長 梅 敦司

記

1 担当部局

島根県益田県土整備事務所 業務部 契約業務課

〒698-0007 島根県益田市昭和町13-1 TEL0856-31-9657

2 入札に付する工事

工事名	令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事
-----	-----------------------

3 総合評価方式の評価方法及びイメージ図(一般的事項)

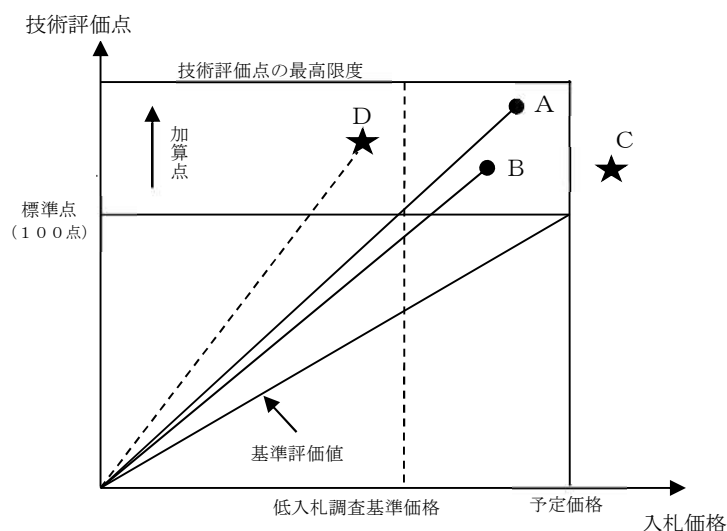
(1) 総合評価方式による入札参加者の順位付け

入札参加者それぞれに標準点(100点)を与え、それに評価項目ごとの加算点を加え、合計を「技術評価点」とする。

総合評価方式の評価は「技術評価点」を当該入札参加者の入札価格で除した(評価値)の大小をもって行う。

$$\begin{aligned}\text{技術評価点} &= \text{標準点}(100\text{点}) + \text{評価項目毎の加算点} \\ \text{評価値} &= \text{技術評価点} \div \text{入札価格}\end{aligned}$$

(2) 総合評価方式のイメージ



各社の評価値＝技術評価点／入札価格

評価値の大小(すなわち直線の傾き)で順位をつける。

A社はB社より入札価格は高いが技術評価点が高いことにより、価格のハンディを技術力で逆転する。

→ A社が落札者となる。
ただし、D社が低入札価格調査において適切とされた場合はD社が落札者となる。

C社は予定価格超過のため落札者とならない。

4 評価項目及び評価基準

(1) 企業の評価

①企業の工事成績評定点

企業の工事成績評定点の平均点を評価する。

対象となる工事成績

完成年度	令和5年度から令和7年度（完成及び引き渡し完了）
発注機関	島根県（総務部、農林水産部、土木部）
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

■評価基準

- ◆対象となる工事成績が2件以上の場合、表1により加算点を算定する。
- ◆対象となる工事成績が1件または無い場合、表2により加算点を算定する。

(表1)

評定点の平均点	80点以上	80点未満 73点以上	73点未満 70点以上	70点未満
加算点	5.0点	$\text{加算点} = 1.5 \text{点} + \{3.5 \times (\text{評定点の平均点} - 73.0) / 7\}$	1.0点	0点

※評定点の平均点は小数第2位を四捨五入、加算点は小数第2位を切り捨て

(表2)

評定点	80点以上	80点未満 73点以上	73点未満 70点以上	70点未満 又は実績無し
加算点	4.5点	$\text{加算点} = (\text{表1で計算した加算点}) \times 0.9$	0.9点	0点

※加算点は小数第2位を切り捨て

②企業の同種工事の施工実績

企業の同種工事の施工実績を評価する。

対象となる施工実績

対象期間	平成28年度から入札公告日前日まで
発注機関	島根県（総務部、農林水産部、土木部）
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
工事内容の条件等	同種工事とは、1 契約の工事において以下の（a）～（d）すべてに該当するものをいう。 （a）対象期間に工事が完成及び引き渡しが完了した工事。 （b）以下に示す、工種を含む「河川工事」。 ●堰・水門工または樋門・樋管工。 （c）「元請」または「共同企業体の構成員」として施工した工事。ただし、「共同企業体の構成員」の場合は、共同企業体が経営JVでなく、構成員としての出資比率が20%以上あること。 （d）工事成績評定点が70点以上のもの。

■評価基準

- ◆対象となる同種工事の施工実績が2回以上ある者は2点
- ◆対象となる同種工事の施工実績が1回ある者は1点
- ◆対象となる同種工事の施工実績がない者は0点

③企業の優良工事表彰（優良工事施工団体表彰）

島根県内の公共事業において、企業として受けた優良工事表彰（優良工事施工団体表彰）を評価する。

対象となる表彰

表彰年度	令和4年度から令和8年度（過去5年間）
表彰機関	島根県及び中国地方整備局
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
表彰の種類	優良工事表彰（優良工事施工団体表彰）

■評価基準

- ◆知事による優良工事表彰、整備局長による優良工事施工団体表彰、または整備局部長・整備局事務所長による優良工事施工団体表彰がある者は2点
- ◆県課長による優良工事表彰、または県事務所長による優良工事表彰がある者は1点
- ◆表彰がない者は0点

(2) 配置予定技術者の評価

（注1）複数の配置予定技術者を候補者とした場合は、候補者のうち評価点合計の最も低い者で評価する。

（注2）配置予定技術者は、主任技術者又は監理技術者とする。

①配置予定技術者の資格

入札公告日前日時点で保有する1級土木施工管理技士または1級建設機械施工技士の資格を評価する。

■評価基準

- ◆どちらかの資格がある者は1点
- ◆どちらの資格もない者は0点

②配置予定技術者の同種工事の施工経験

配置予定技術者の同種工事の施工経験を評価する。

対象となる施工経験

完成年度	平成28年度から入札公告日前日まで
発注機関	島根県（総務部、農林水産部、土木部）
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
工事内容の条件等	同種工事とは、1契約の工事において以下の（a）～（d）すべてに該当するものをいう。 （a）対象期間に工事が完成及び引き渡し完了した工事。 （b）以下に示す、工種を含む「河川工事」。 ●堰・水門工または樋門・樋管工。 （c）上記工種の着手から完了まで監理技術者（監理技術者補佐を含む）、主任技術者、現場代理人または担当技術者（♣）として従事したもの。 （d）工事成績評定点が70点以上のもの

担当技術者の評価

担当技術者としての施工経験については、上記同種工事の担当技術者としてコリンズ登録されているものに限り評価する。

（♣）担当技術者とは、主任（監理）技術者でない技術者であり、従事した工事における工種、工法・型式（コリンズ登録体系によるもの）の工程の全期間において、主任（監理）技術者の指導監督の下で、施工管理（写真管理、品質管理、出来形管理、工程管理のいずれか）を担当する者とし、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者とする。

■評価基準

- ◆対象となる同種工事の施工経験が2回以上ある者は2点
- ◆対象となる同種工事の施工経験が1回ある者は1点
- ◆対象となる同種工事の施工経験がない者は0点

③配置予定技術者の優秀建設技術者表彰

島根県内の公共事業において、配置予定技術者が受けた優秀建設技術者表彰を評価する。

対象となる表彰

表彰年度	令和4年度から令和8年度（過去5年間）
表彰機関	島根県及び中国地方整備局
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
表彰の種類	主任（監理）技術者または現場代理人として受けた、優秀建設技術者表彰

■評価基準

- ◆優良工事知事表彰該当工事の優秀建設技術者表彰（建設工事部門）、整備局長による優秀建設技術者表彰（工事）、または整備局部長・整備局事務所長による優秀建設技術者表彰（工事）がある者は2点
- ◆優良工事県課長表彰該当工事の優秀建設技術者表彰（建設工事部門）、または優良工事県事務所長表彰該当工事の優秀建設技術者表彰（建設工事部門）がある者は1点
- ◆表彰がない者は0点

(3) 地域貢献

①家畜伝染病防疫協定の締結実績

令和6年度及び令和7年度の2年間において、島根県との家畜伝染病防疫協定※¹を連続で締結した実績※²を評価する。（団体との締結であれば団体構成員又は協定参加企業でも可）

益田県土整備事務所と益田・鹿足建設業協会と締結している家畜伝染病防疫協定※¹については、締結実績※²を証明する書類の添付を省略することができる。

ただし、協定を締結した建設業協会の受け持つ地域内に建設業法に規定する営業所を有するものに限る。

益田県土整備事務所以外の県機関と他団体との家畜伝染病防疫協定※¹を締結実績※²として申請する場合は、2年間連続で益田県土整備事務所以外の県機関と家畜伝染病防疫協定※¹を締結していることを証明する書類を添付すること。

※¹ 「家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する協定」

※² 年度途中に団体に加入または団体から脱退した場合、その年度は締結実績として認めない。

■評価基準

- ◆2年間連続して締結実績がある者は1点
- ◆2年間連続して締結実績がない者は0点

② 県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績

令和6年度及び令和7年度の2年間における、県管理公共土木施設に関する維持管理業務（発注機関は問わない。島根県発注業務においては「県が認めた下請け業務」※も含む。）または島根県発注の海岸漂着物の回収業務の契約実績（「県が認めた下請け業務」※も含む。）とし、それぞれの年度で1回の契約期間が5ヶ月以上のものに限り評価する。

同一年度に複数の契約実績（「県が認めた下請け業務」※を含む。）があっても1回の契約とみなす。

また、1回の契約期間が両年度にわたる場合は、契約期間の長い方の年度を評価する。ただし、1回の契約期間が1年5ヶ月以上の場合、両年度とも契約実績があるとして評価する。

なお、指定管理者制度によるものは評価の対象外とする。

※「県が認めた下請け業務」とは以下のとおり。

元請業者との1回の契約期間が5ヶ月以上で、県に下請け通知書が提出されている業務とする。

ただし、元請業者と下請け業者との間に、入札公告に定めのある資本関係・人的関係が存在しないこと。

■ 評価基準

- ◆ 両年度とも契約実績がある者は2点
- ◆ どちらかの年度に契約実績がある者は1点
- ◆ 契約実績がない者は0点

③ 県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績

令和6年度及び令和7年度の2年間において、県管理道路・空港を含む除雪業務（凍結防止剤散布業務を含む）の契約実績を評価する。ただし、島根県発注業務においては県が認めた下請け業務も含む。

■ 評価基準

- ◆ 両年度とも契約実績がある者は1点
- ◆ 契約実績がない者は0点

(4) 地理的条件

① 近隣地域での施工実績【地域設定】

令和6年度から令和7年度に完成及び引き渡しが完了した島根県（総務部、農林水産部、土木部）が発注した公共工事で、旧益田市内における請負金額2,500万円以上（税込）の工事。

ただし、工事成績評定が70点未満のものは、施工実績として認めない。

■ 評価基準

- ◆ 旧益田市内での施工実績がある者は1点
- ◆ 上記以外の者は0点

② 会社の所在地【地域設定】

入札公告日前日時点で、益田市に建設業法に規定する主たる営業所（本店）または従たる営業所（支店、営業所）がある者を評価する。

■ 評価基準

- ◆ 益田市に建設業法に規定する主たる営業所（本店）または従たる営業所（支店、営業所）がある者は1点
- ◆ 上記以外の者は0点

(4) 減点

① 低入札工事の工事成績が良好でない場合の減点

前年度から入札公告日前日までに完成した島根県発注の工事又は令和7年度に完成した国土交通省中国地方整備局発注の工事で、低入札価格調査対象工事がある場合、当該工事の工事成績評定点が75点未満であれば、減点を行う。（工事成績評定点が70点未満の場合、入札に参加することができない。）

■ 減点基準

- ◆ 70点の者は－5点
- ◆ 75点の者は0点
- ◆ 中間の者は按分で点数を算出

【減点 ＝ 5点 × (75－低入札工事の点数) ÷ (75－70) 】

なお、対象工事が複数ある場合は、工事成績評定点が一番低い工事を減点対象工事とする。

『減点の計算事例』

A社の県発注工事（令和7年度から公告日前日）の低入札工事の工事評定点が72点と74点であれば、72点を採用して、

$$A社の減点 = 5点 \times (75^{点} - 72^{点}) \div (75^{点} - 70^{点}) = 3.0点$$

（小数第2位四捨五入）

② 県内下請及び県内産資材の使用義務付け違反による減点

島根県発注の令和7年度に完成した公共工事において、県内下請及び県内産資材の使用義務付け違反による工事成績評定点の減点を受けたことがあれば、減点を行う。

■ 減点基準

- ◆ 県内下請の使用義務付け違反の場合は－1点
- ◆ 県内産資材の使用義務付け違反の場合は－1点

5 技術資料の審査の統一事項

技術資料の審査が公平かつ迅速に行えるよう「総合評価方式(建設工事)技術資料の審査の統一事項」及び「同統一事項(具体事例)」を定め、下記に掲載しているので参考にする
こと。

島根県ホームページ

トップ > 環境・県土づくり > 技術管理 > 技術管理情報 > 総合評価方式
> 建設工事総合評価方式、業務委託総合評価・プロポーザル方式

【総合評価方式(建設工事)技術資料の審査の統一事項】

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kouji/kouji_info/sougouhyouka/

(特別簡易型 総合評価方式)
総 合 評 価 技 術 資 料

発注者

益田県土整備事務所長 様

住所

商号又は名称

代表者氏名

令和8年10月23日付けで入札公告のありました下記工事について、別添のとおり書類を添えて提出いたします。

1 工事名 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

2 提出書類(下記項目の該当するもの)

- 企業の工事成績評定点 (様式-2-1、様式-2-2)
- 企業の同種工事の施工実績 (様式-3)
- 企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰) (様式-4)
- 配置予定技術者の資格 (様式-5)
- 配置予定技術者の同種工事の施工経験 (様式-6)
- 配置予定技術者の優秀建設技術者表彰 (様式-7)
- 家畜伝染病防疫協定の締結実績 (様式-8)
- 県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績 (様式-9)
- 県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績 (様式-10)
- 地理的条件(近隣地域での施工実績) (様式-11)
- 地理的条件(会社所在地) (様式-12)

3 問い合わせ先

担当者

部署

電話番号

FAX番号

E-mail

(様式-2-1)
評価項目(1)-①

企業の工事成績評定点

会社(企業体)名:

対象工事	完成年度	令和5年度から令和7年度(完成及び引き渡し完了)
	発注機関	島根県(総務部、農林水産部、土木部)
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

工事成績評定点の平均 (小数第2位を四捨五入)	件	点
----------------------------	---	---

- (1) 対象工事の工事成績評定点一覧表(別紙)を添付すること。
- (2) 工事種別については、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。
- (3) 単年度の対象工事件数が60件を超える場合、「工事成績評定点の平均」欄の「件数」及び「平均点」は、自動計算されないため、直接記入すること。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「企業の工事成績評定点」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料いう。

(収受印)

技術資料の提出方法

「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄が未記入ですので、リストから「有」、「無」どちらかを選択してください。

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用 の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和5年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)

会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R5					点
2	R5					点
3	R5					点
4	R5					点
5	R5					点
6	R5					点
7	R5					点
8	R5					点
9	R5					点
10	R5					点
11	R5					点
12	R5					点
13	R5					点
14	R5					点
15	R5					点
16	R5					点
17	R5					点
18	R5					点
19	R5					点
20	R5					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。

(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和5年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)

会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R5					点
22	R5					点
23	R5					点
24	R5					点
25	R5					点
26	R5					点
27	R5					点
28	R5					点
29	R5					点
30	R5					点
31	R5					点
32	R5					点
33	R5					点
34	R5					点
35	R5					点
36	R5					点
37	R5					点
38	R5					点
39	R5					点
40	R5					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。

(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和5年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)

会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
41	R5					点
42	R5					点
43	R5					点
44	R5					点
45	R5					点
46	R5					点
47	R5					点
48	R5					点
49	R5					点
50	R5					点
51	R5					点
52	R5					点
53	R5					点
54	R5					点
55	R5					点
56	R5					点
57	R5					点
58	R5					点
59	R5					点
60	R5					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
- (2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)
会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R6					点
2	R6					点
3	R6					点
4	R6					点
5	R6					点
6	R6					点
7	R6					点
8	R6					点
9	R6					点
10	R6					点
11	R6					点
12	R6					点
13	R6					点
14	R6					点
15	R6					点
16	R6					点
17	R6					点
18	R6					点
19	R6					点
20	R6					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)
会社(企業体)名: _____

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R6					点
22	R6					点
23	R6					点
24	R6					点
25	R6					点
26	R6					点
27	R6					点
28	R6					点
29	R6					点
30	R6					点
31	R6					点
32	R6					点
33	R6					点
34	R6					点
35	R6					点
36	R6					点
37	R6					点
38	R6					点
39	R6					点
40	R6					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)
会社(企業体)名：_____

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
41	R6					点
42	R6					点
43	R6					点
44	R6					点
45	R6					点
46	R6					点
47	R6					点
48	R6					点
49	R6					点
50	R6					点
51	R6					点
52	R6					点
53	R6					点
54	R6					点
55	R6					点
56	R6					点
57	R6					点
58	R6					点
59	R6					点
60	R6					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和7年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)

会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R7					点
2	R7					点
3	R7					点
4	R7					点
5	R7					点
6	R7					点
7	R7					点
8	R7					点
9	R7					点
10	R7					点
11	R7					点
12	R7					点
13	R7					点
14	R7					点
15	R7					点
16	R7					点
17	R7					点
18	R7					点
19	R7					点
20	R7					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。

(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和7年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)

会社(企業体)名: _____

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R7					点
22	R7					点
23	R7					点
24	R7					点
25	R7					点
26	R7					点
27	R7					点
28	R7					点
29	R7					点
30	R7					点
31	R7					点
32	R7					点
33	R7					点
34	R7					点
35	R7					点
36	R7					点
37	R7					点
38	R7					点
39	R7					点
40	R7					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。

(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-2-2)
評価項目(1)-①

【令和7年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)
会社(企業体)名:

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
41	R7					点
42	R7					点
43	R7					点
44	R7					点
45	R7					点
46	R7					点
47	R7					点
48	R7					点
49	R7					点
50	R7					点
51	R7					点
52	R7					点
53	R7					点
54	R7					点
55	R7					点
56	R7					点
57	R7					点
58	R7					点
59	R7					点
60	R7					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
- (2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-3)

評価項目(1)-②

企業の同種工事の施工実績

会社(企業体)名:

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡しが完了した島根県発注工事
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
	同種工事の定義	河川工事における堰・水門工または樋門・樋管工を含む完成及び引き渡し完了した工事

工事内容			施工実績①			施工実績②		
工 事 名 称 等	工 事 名							
	コリンズ登録番号							
	発注機関名							
	工事種別							
	建設工事の種類							
	施工場所							
	請負金額(最終・税込)		円			円		
	契約上の工期	(始)	年	月	日	年	月	日
		(終)	年	月	日	年	月	日
	受注形態							
特別(特定)JVの場合、出資比率								
工事成績評定点			点			点		
工 事 概 要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模							
	形式							

(1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑨を組み合わせ提出すること。

- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
- ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
- ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
- ⑤ 竣工検査済証の写し。
- ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
- ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ⑧ 発注者の証明書の写し。(上記資料①～⑦で確認できない記載内容(コリンズ登録番号を除く。)を全て証明してあるもの。)
- ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑨で確認できる内容

項目名		資料番号									備考
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリンズ登録番号	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象
工事成績評定点					○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)
工事概要		○ or △	○ or △					○ or △	○		②、③、④、⑤を必要に応じて追加添付

※1:上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。

※2:上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考)代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	①+④ ①+⑥
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリンズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		発注者の証明書等、必要な資料を添付。	⑧ ⑧+⑨

(2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。

(3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。

(4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

(様式-4)

評価項目(1)-③

企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)

会社(企業体)名:

対象 工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国 地方整備局発注工事を受けた優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

表彰者の区分	
受賞年度	※竣工年度ではありません
工事名	
工事種別	
建設工事の種類	

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
- (2) 中国地方整備局発注工事は表彰状等の写しを添付すること。また、発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい。
- (3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- (4) 工事名は、「契約工事名」で記入すること。
- (5) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

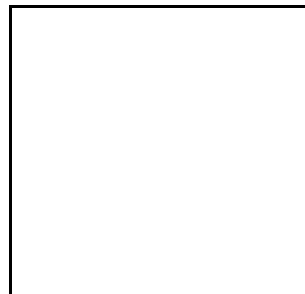
今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。

技術資料の提出方法

「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄が未記入ですので、リストから「有」、「無」どちらかを選択してください。

(収受印)



【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

配置予定技術者の資格

会社(企業体)名: _____

対象:配置予定の主任(監理)技術者が保有する次の資格
1級土木施工管理技士又は1級建設機械施工管理技士

配置予定技術者氏名		保有する資格名称	最新の有効期限 (有効期限のない 資格は記入不要)
①			
②			
③			

- (1) 資格・有効期限の確認できる証明書、資格証等の写しを添付すること。
(2) 資格は入札公告日前日時点(令和8年10月22日時点)で保有する資格とする。
(3) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
(4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事
(ただし、資格の有効期限が令和9年7月31日以前までのものは、その期日までとする)

対象技術者: 上記①～③の配置予定技術者のうち、上記資格保有者

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「配置予定技術者の資格」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。
※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。
ただし、資格を新たに取得し、加算点に変更が生じた場合は、技術資料及び必要な添付資料を再提出すること。

①配置予定技術者: 技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

②配置予定技術者: 技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

③配置予定技術者: 技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

(収受印)

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象資格が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名:

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡し完了した島根県発注工事
	同種工事の定義	河川工事における堰・水門工または樋門・樋管工を含む完成及び引き渡し完了した工事
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名		①	
工事内容		施工経験①	
工事名称等	工 事 名		
	コリンズ登録番号		
	発注機関名		
	施工場所		
	請負金額(最終・税込)		円
	契約上の工期	(始)	年 月 日
		(終)	年 月 日
	従事期間	(始)	年 月 日
		(終)	年 月 日
	従事時の役職		
	受注形態		
	特別(特定)JVの場合、出資比率		
	工事種別		
	建設工事の種類		
工事成績評定点		点	点
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合)		
	施工規模		
	形式		

(1) 施工経験(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑪を組み合わせ提出すること。

- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
- ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)＋技術者の従事期間が確認できる資料(資料⑧及び資料⑨)を追加添付すること。
- ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
- ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
- ⑤ 竣工検査済証の写し。
- ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑩)も追加添付すること。)
- ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ⑧ 技術者の従事期間(始)と従事時の役職が確認できる資料(契約時の技術者が確認できるコリンズの「登録内容確認書」の写し等)。
- ⑨ 技術者の従事期間(終)と従事時の役職が確認できる資料(最終の計画工程表兼工事履行報告書等)。
- ⑩ 発注者の証明書の写し。(上記資料①～⑨で確認できない記載内容(コリンズ登録番号を除く。)を全て証明してあるもの。)
- ⑪ 施工経験として提出する工事の「工事種別」および「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑪で確認できる内容

項目名		資料番号											備考
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリンズ登録番号	○											①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○				○	○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		△	○	○		⑧の場合、始期のみ
	従事期間	○							△	△	○		⑧、⑨は両方必要
	従事時の役職	○							△	△	○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○	○	○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○									○		JV工事のみ対象
	工事種別	○									○	○	
	建設工事の種類	○									○	○	
工事成績評定点					○		○				○		成績評定対象外工事の場合、⑩が必須(島根県発注工事以外)
工事概要		○ or △	○ or △					○ or △			○		②、③、④、⑤を必要に応じて追加添付

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。

※2: 上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考) 代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	条件3	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	契約工期と技術者の従事期間が同じ。	①+④
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。		①+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。		①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン4		上記パターン1～3のいずれかに該当。		①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	技術者の従事期間を確認できる資料の追加添付が必要。	パターン1+⑧+⑨ パターン2+⑧+⑨ パターン3+⑧+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。		②+③+④+⑧+⑨+⑪ ②+③+⑤+⑥+⑧+⑨+⑪
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付。		②+③+④+⑦+⑧+⑨+⑪ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑪
パターン8				
			技術者の従事期間を確認できる資料が準備できない。	⑩
				⑩+⑪

- (2) 施工経験が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。
- (3) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (4) 同種工事施工経験時の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
- (5) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (6) 担当技術者としての同種工事の施工経験はコリンズの登録(竣工登録に限る。)がなければ申請できない。(担当技術者の施工経験が評価対象として入札説明書に記載されている工事のみに適用)
- (7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名:

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡し完了した島根県発注工事
	同種工事の定義	河川工事における堰・水門工または樋門・樋管工を含む完成及び引き渡し完了した工事
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名		②	
工事内容		施工経験①	施工経験②
工事名称等	工 事 名		
	コリンズ登録番号		
	発注機関名		
	施工場所		
	請負金額(最終・税込)	円	円
	契約上の工期	(始) 年 月 日	年 月 日
		(終) 年 月 日	年 月 日
	従事期間	(始) 年 月 日	年 月 日
		(終) 年 月 日	年 月 日
	従事時の役職		
	受注形態		
	特別(特定)JVの場合、出資比率		
	工事種別		
	建設工事の種類		
工事成績評定点		点	点
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模		
	形式		

(1) 注意事項は、配置予定技術者①用の技術資料を参照。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名:

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡し完了した島根県発注工事
	同種工事の定義	河川工事における堰・水門工または樋門・樋管工を含む完成及び引き渡し完了した工事
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名		③	
工事内容		施工経験①	施工経験②
工事名称等	工 事 名		
	コリンズ登録番号		
	発注機関名		
	施工場所		
	請負金額(最終・税込)	円	円
	契約上の工期	(始) 年 月 日	年 月 日
		(終) 年 月 日	年 月 日
	従事期間	(始) 年 月 日	年 月 日
		(終) 年 月 日	年 月 日
	従事時の役職		
	受注形態		
	特別(特定)JVの場合、出資比率		
	工事種別		
	建設工事の種類		
工事成績評定点		点	点
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模		
	形式		

(1) 注意事項は、配置予定技術者①用の技術資料を参照。

配置予定技術者の優秀建設技術者表彰
会社(企業体)名:

対象 工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で主任(監理)技術者または現場代理人として受けた優秀建設技術者表彰
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名	①	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
- (2) 中国地方整備局発注工事は表彰状等の写しを添付すること(発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい)。
- (3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- (4) 工事名の欄は、「契約工事名」で記載すること。
- (5) 表彰時点の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
- (6) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「配置予定技術者の優秀建設技術者表彰」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。
※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。

(収受印)

技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用 の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

配置予定技術者の優秀建設技術者表彰
会社(企業体)名:

対象 工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で主任(監理)技術者または現場代理人として受けた優秀建設技術者表彰
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名	②	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
(2) 中国地方整備局発注工事など県発注工事以外は表彰状等の写しを添付すること(発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい)。
(3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
(4) 工事名欄は、「契約工事名」で記載すること。
(5) 表彰時点の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
(6) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
(7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「配置予定技術者の優秀建設技術者表彰」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。
※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。

技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

(収受印)

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用 の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

配置予定技術者の優秀建設技術者表彰
会社(企業体)名:

対象 工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で主任(監理)技術者または現場代理人として受けた優秀建設技術者表彰
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名	③	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
(2) 中国地方整備局発注工事など県発注工事以外は表彰状等の写しを添付すること(発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい)。
(3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
(4) 工事名欄は、「契約工事名」で記載すること。
(5) 表彰時点の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
(6) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
(7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「配置予定技術者の優秀建設技術者表彰」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。
※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。

技術資料の提出方法

申請する場合は、「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄で「有」を選択してください。

(収受印)

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に益田県土整備事務所が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

(様式-8)

評価項目(3)-①

家畜伝染病防疫協定の締結実績

会社(企業体)名:

対象: 令和6年度及び令和7年度における島根県との家畜伝染病防疫協定の締結実績

令和6年度の協定締結実績の有無	
令和7年度の協定締結実績の有無	

- (1) 対象年度において、島根県との家畜伝染病防疫協定の締結実績の有無を記載すること。
- (2) 協定を締結した団体の構成員はもとより、協定に参加している協力企業等も対象とする。ただし、評価の対象者は、団体が所管する地域内に建設業法に規定する営業所を有する者に限る。また、年度途中で脱退した場合、年度途中から加入した場合はその年度の契約締結実績として認めない。本社所在地を所管する団体以外との協定に参加している場合は、営業所を有することがわかる資料を添付すること。
- (3) 益田県土整備事務所と益田・鹿足建設業協会と締結している家畜伝染病防疫協定(家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する協定)については、締結実績を証明する書類の添付を省略することができる。
- (4) **益田県土整備事務所以外の県機関と他団体との防災協定**を締結実績として申請する場合は、企業名が明示された協定書等の写しや団体の代表者の証明書など、協定に参加している企業であることがわかる資料を添付すること。

(様式-9)
評価項目 (3)-②

県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績
会社(企業体)名:

対象: 令和6年度及び令和7年度の県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績

評価対象地域	島根県内
--------	------

令和6年度

発注機関	委託月数 (自動計算)	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所(旧市町村名)
	0.0ヶ月			

令和7年度

発注機関	委託月数 (自動計算)	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所(旧市町村名)
	0.0ヶ月			

- (1) 対象年度において、県管理公共土木施設に関する維持管理業務(発注機関は問わない。島根県発注業務においては県が認めた下請け業務も含む。)または島根県発注の海岸漂着物の回収業務の契約実績(県が認めた下請け業務も含む。)のうち、1回の契約期間が5ヶ月以上のものについて記入すること。
- (2) 1回の契約期間が両年度にわたるものは、契約期間の長い方の年度に契約実績を記入すること。ただし、1回の契約期間が1年5ヶ月以上の場合、両年度とも契約実績として記入する。
- (3) 同一年度に複数の契約実績(県が認めた下請け業務を含む。)があっても1回の契約とみなす。
- (4) 県が認めた下請け業務とは、元請業者との1回の契約期間が5ヶ月以上で、県に下請け通知書が提出されている業務とする。
ただし、元請業者と下請業者との間に、入札公告に定めのある資本関係・人的関係が存在しないこと。
- (5) 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- (6) 上記(4)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。
- (6) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

※本書の写しとは、収受印欄に収受の押印がある資料をいう。

ただし、本提出書類では契約実績が確認できない(評価対象となる施工範囲を満足していないなど)場合、再度、技術資料及び必要な添付資料の提出が必要である。

技術資料の提出方法

「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄が未記入ですので、リストから「有」、「無」どちらかを選択してください。

(収受印)

【注】

・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。

(様式-10)
評価項目(3)-③

県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績
会社(企業体)名:

対象: 令和6年度及び令和7年度の県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績

評価対象地域	島根県内
--------	------

令和6年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間	業務内容	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		

令和7年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間	業務内容	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		

- (1) 対象年度において、県管理道路・空港を含む除雪業務(凍結防止剤散布業務を含む。)の契約実績(島根県発注業務においては県が認めた下請け実績も含む。)について記載すること。
- (2) 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- (3) 上記(2)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。

技術資料提出工事名: 令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事

提出事務所名: 益田県土整備事務所

有効範囲: 令和9年7月31日までに入札公告された工事

今後、益田県土整備事務所が発注する工事においては、本書の写し(※)をもって「県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

※本書の写しとは、收受印欄に收受の押印がある資料をいう。

ただし、本提出書類では契約実績が確認できない(評価対象となる施工範囲を満足していないなど)場合、再度、技術資料及び必要な添付資料の提出が必要である。

(收受印)

技術資料の提出方法

「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄が未記入ですので、リストから「有」、「無」どちらかを選択してください。

【注】

・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。

(様式-11)
評価項目(4)-①

地理的条件
(近隣地域での施工実績)

会社(企業体)名: _____

対象: 令和6年度から令和7年度に完成及び引き渡しが完了した島根県(総務部、農林水産部、土木部)発注の
下記工事

対象工事	旧益田市内における請負金額2,500万以上(税込)の工事
工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

工事内容		施工実績①	施工実績②
工 事 名			
コリンズ登録番号			
発注機関名			
工事種別			
建設工事の種類			
施工場所			
請負金額(最終・税込)		円	円
契約上の工期	(始)	年 月 日	年 月 日
	(終)	年 月 日	年 月 日
受注形態			
特別(特定)JVの場合、出資比率			
工事成績評定点		点	点

- (1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑨を組み合わせ提出すること。
- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
 - ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
 - ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
 - ⑤ 竣工検査済証の写し。
 - ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
 - ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ⑧ 発注者の証明書の写し。
 - ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑨で確認できる内容

項目名		資料番号									備考
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリンズ登録番号	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象
工事成績評定点					○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。

※2: 上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考)代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	①+④ ①+⑥
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリンズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付。	⑧ ⑧+⑨

(2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。

(3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。

(4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

(様式-12)
評価項目(4)-②

地理的条件
(会社所在地)

会社(企業体)名:

対象: 入札公告日前日において、評価対象地域内に建設業法で規定する主たる営業所(本店)または従たる営業所(支店、営業所)がある者

評価対象地域	益田市
--------	-----

種類	住 所

- (1) 資料の添付は不要。ただし、上記内容(住所)が、島根県建設工事等入札参加資格者名簿に記載の住所と異なる場合は、建設業許可申請における営業所一覧表等、上記内容(住所)を確認するために必要な資料を添付すること。営業所一覧表等は、原本と相違ないことを代表者名で証明すること。
- (2) 入札公告日前日(令和8年10月22日時点)での状況について記載すること。

※ 島根県建設工事等入札参加資格者名簿は島根県土木総務課建設産業対策室ホームページにて掲載
http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/bid/shikaku/shinsei_doboku/nyuusatu_sannka_meibo_4-6.html

設計図書、技術資料作成に対する質問書

令和 年 月 日付けで入札公告のありました下記工事について下記のとおり質問します。
記

入札公告日	令和8年10月23日
工事名	令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事
質問事項	要旨

(様式－14)

令和 年 月 日

設計図書、技術資料作成に対する質問の回答書

令和 年 月 日付けでありました質問について下記のとおり回答します。
記

入札公告日	令和8年10月23日
工事名	令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事
質問事項	回答

(様式－15)

令和 年 月 日

評価内容説明要求書

(発注者)

様

(提案者)

令和 年 月 日付けで公表のありました入札結果調書において下記事項について評価内容の詳細な説明を求めます。

記

入札公告日	令和8年10月23日
工事名	令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事
評価内容の説明を求める項目及び要求の要旨	
項目	説明を求める要旨
①	
②	
③	

(様式－16)

令和 年 月 日

評価内容回答書

(提案者)

様

(発注者)

令和 年 月 日付けで通知のありました評価内容説明要求書について下記のとおり回答します。

記

入札公告日	令和8年10月23日
工事名	令和8年度 横田安富地区 水門施設改修工事
評価内容の説明要求に対する回答	
項目	回答
①	
②	
③	